

# 子どもたちの心に届く声のかけ方

2018.10.3

花まる学習会・スクールFC

特定非営利活動法人子育て応援隊むぎぐみ 副理事

佐藤暢昭

かわいいわが子には元気に育てほしい。けれど、どう接すればいいかわからないことがある。こちらの言う事を聞いてくれない、やる気が見えない、いつも同じことばかり注意をしてしまう…。そんなときに、どんな声かけをすればいいのか、どうすればこちらの気持ちは落ち着くのか、そして、彼らが将来「メシが食える大人」になるためには何が必要なのか。今日は、花まる学習会や療育支援等の現場から得られたことなどを中心にお話しさせていただきます。

## 1 子どもたちが将来「メシが食える大人」「魅力的な大人」になるために必要な力とは ～花まる学習会の三本柱から～

① 「国語力」

② 「野外体験」

③ 「思考力」

## 2 その力をつけるために家庭でできること

### ① 子どもを知る

赤い箱と青い箱（オタマジャクシからカエルへ）

#### 【オタマジャクシ】

- ・やかましい
- ・物事が長続きしない
- ・視野がせまい
- ・おだてにのりやすい
- ・落ち着きがない
- ・うらやましがる
- ・興味のないものには体が動かない
- ・丸暗記が得意
- ・計画性がない
- ・我慢できない

#### 【カエル】

- ・学習量が圧倒的に増える。学習体力がつく鍛錬を求める時期
- ・「努力は天才に勝る」が具体化する。誠実・コツコツ・一心・まじめが価値をもつ
- ・振り返りが可能になる、学習法を習得する意味がある
- ・発想法を知識として習得し、徹底して反復することで、能力差を埋められる
- ・親ではない、外での大人との出会いが大きな影響を与える
- ・親とは、本心は体重を預けつつ、距離をとろうとする。

### ② 自己肯定感を高めるために ～声のかけ方～

リフレーム

どうやってほめる